

# つばた

議会だより

No.144

2018.1.1

## 迎春

12月会議 合葬墓整備に着手	2
クローズアップ 居宅介護サービス利用者が増加	4
委員会審議 役場庁舎建て替えへ検討委員会等を設置	6
平成28年度決算審査 事業実績や効果を厳しくチェック!	10
いっぱい質問 矢田町長三期目の出馬を問うなど 9人が登壇	14
あの質問のゆくえ 温水プールの建設場所はなど	23

冬のフェスティバル  
よーく狙って!

(井上小学校)

表紙撮影：議会広報調査特別委員 竹内 竜也

## 12月会議

12月会議を平成29年12月4日から11日までの会議期間で開催した。初日に一般会計・特別会計・事業会計補正予算、条例の改正などを含む議案10件が提出され、引き続き町政全般について9人が一般質問を行った。

議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決、請願1件を不採択とした。続いて人権擁護委員の推薦について同意した。さらに、人事院勧告などに伴う条例改正の追加議案3件が提出され、常任委員会審議を経て全議案を可決した。

また11日には、角井外喜雄副議長長の辞職に伴い副議長選挙が行われ、森山時夫氏が10票を獲得して当選し、就任した。副議長長の交代に伴い、県森林公園活性化対策特別委員会委員の選任、大河ドラマ誘致推進特別委員会副委員長と議会改革検討特別委員会委員長・副委員長の互選が行われた。

## 合葬墓

## 整備に着手

2310万円計上

核家族化、少子化などにより将来の墓地管理に不安を抱く町民などが増加している。墓地に対する新たなニーズに対応するため、多くの焼骨を共同で埋蔵できる合葬墓を鷹の松墓地公園に整備する。

全体事業費は5788万円を見込み、平成30年6月末までの完成を目指す。

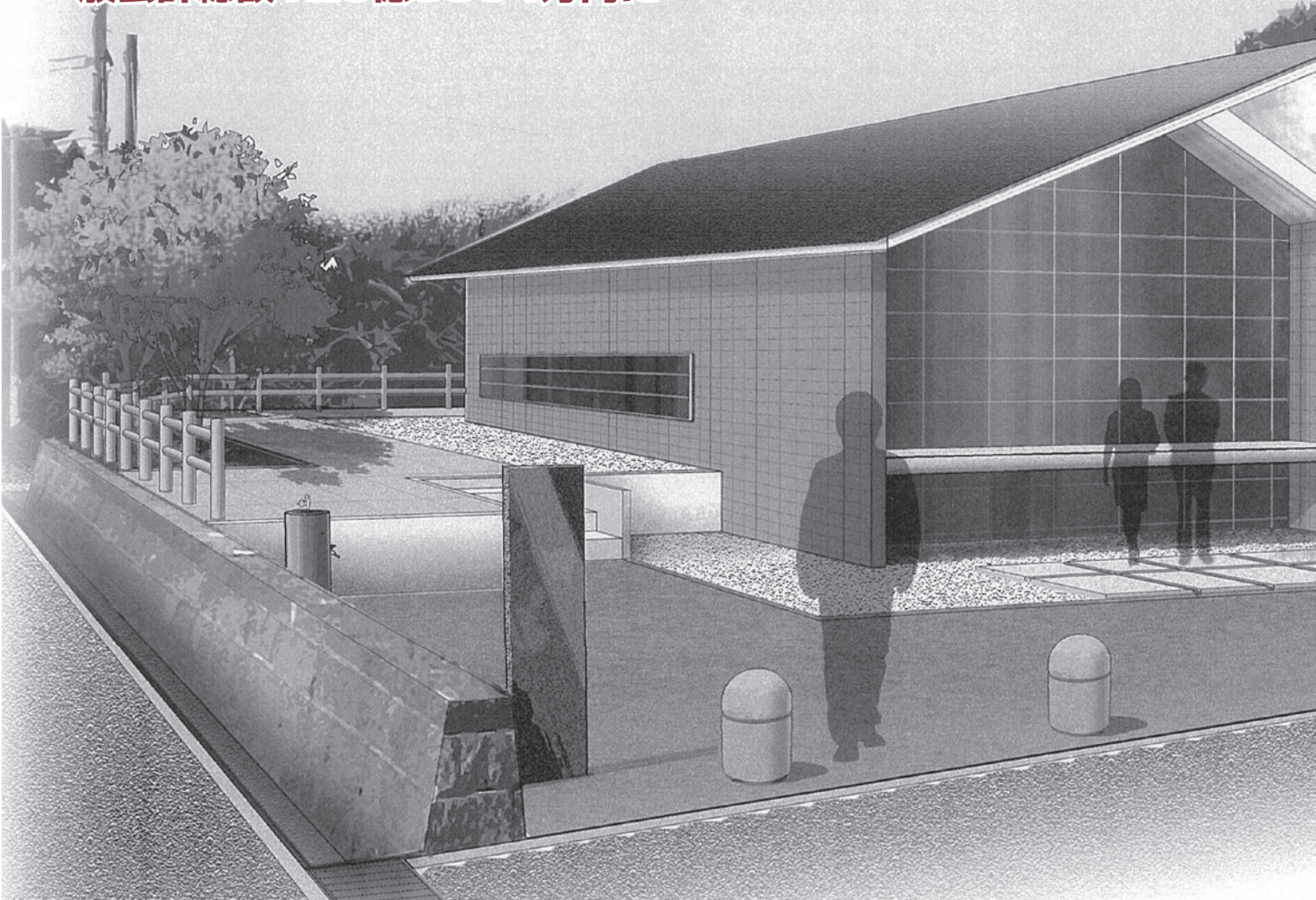
合葬墓の使用方法や料金などは先進地を参考として決定し、30年3月会議までに町墓地公園条例の改正案を提出する予定であり、少しでも早く町民へのPR、利用促進を図っていく。



# 一般会計補正予算

## 1億9451万円を可決 (賛成14人・反対1人)

### 一般会計総額126億9564万円に



▲永代までも安心を（合葬墓 完成イメージ）

第32代副議長に

## 森山 時夫 氏



### 所信表明

プランは自分の知恵でできるが、アクションは周りの多くの力、知恵をいただき、大きな目標をやり遂げる。そのためには環境づくりが最も大切であると考え、議長の補佐役に徹し、議会運営、公務など最大限バックアップすべく努力する。

透明感を持って議会改革を推し進めていきたい。

今回の副議長選挙では、森山、西村の2氏が立候補し、議場において所信表明を行った。

### 選挙結果

森山 時夫 氏	10 票
西村 稔 氏	4 票
無効	2 票

# こんなことに使われます クローズアップ

12月補正予算で新たに行われる事業など、一部を紹介します。

補正予算とは、当初予算の内容の一部変更する予算です。

## 居宅介護サービス

利用者が増加

4300万円

介護サービスの利用傾向を見ると、居宅介護サービスや介護予防サービスの利用者が増加している。居宅サービスの利用者が当初の見込みより増加したため補正する。

## 旧姓併記に係る

システム改修費

388万円

マイナンバーカードなどに旧姓が併記されるようになるため、住民基本台帳システムを改修する。

**反対**

情報漏えいのリスクを考えると、社会保障・番号制度に対する不安がつきまとう。

塩谷 道子 議員

## 鳥獣捕獲事業費

1100万円

平成29年4月から11月までのイノシシの捕獲数は837頭であるが、30年3月までの捕獲数を1000頭と見込む。29年7月から30年3月分までの捕獲分を補正する。

## がん検診

受診者が増加

311万円

当初の見込みより個別検診の胃がん内視鏡検診の受診者が増加した。

**Q** 内視鏡検診受診者数の推移は。

**A** 平成27年度は713人、28年度は836人、29年度は879人である。

## 条例改正

### 常勤の特別職と議会議員の

### 期末手当を増額

国家公務員の給与改正を踏まえ、常勤の特別職と議会議員の期末手当の支給月をそれぞれ3・25か月から3・30か月に改正する。

**反対**

常勤の特別職や議員への期末手当は相応の支給が行われており、わざわざあっても改正する必要はない。

塩谷 道子 議員

(以上、賛成14人・反対1人)

## 人事

### 推薦された委員

人権擁護委員

(平成30年4月1日)

任期3年

澤田 昭子氏

(北中条)

再任

本田 寛美氏

(興津)

新任



(全員賛成)



## 町道常徳舟尾線

### 災害復旧工事

**600万円**

台風21号により町道常徳舟尾線が崩壊したため、地方債・国庫支出金を活用して復旧する。



▶早い復旧を

## 小中学校就学援助費

### 支給単価改訂により増額

**206万円**

支給単価の改訂に伴い、左記のとおり就学援助費が増額となった。

#### ○新入学用品費

小学1年生

1万9900円 ↓ 4万6000円

中学1年生

2万2900円 ↓ 4万7400円

#### ○修学旅行費

4万円 ↓ 5万7590円

## 町税賦課データ入力・システム修正業務を委託

### システム修正業務を委託

**115万円**

確定申告時期に集中する賦課データ業務をより迅速かつ的確に処理するために外部委託する。

あわせて税制改革による確定申告支援システム改修も外部委託する。

## マンホールトイレ

### 資材を購入

**780万円**

下水道補助事業として、災害時に使用する組み立て式上屋と便器を井上・条南小学校に10台ずつ設置する。今後、設置箇所を順次拡大する予定である。



▲災害時に備えて

## 過払い分賃金等の

### 支払いを求め、反訴を提起

当町の元介護認定調査員が原告となり、当町ほか2名を被告とした損害賠償請求事件について、原告が当町に在職中、欠勤により発生した過払い分賃金の返納と社会保険料の自己負担分の納付がまだなされないことから、原告を被告として反訴し、その支払いを求める。



条例にのっとり未払い分の金額を町が請求すること自体は間違っていないが、本人が落ち着いてから請求するという配慮があつてしかるべきではないか。

塩谷 道子議員



本訴が係属中のため、予断に基づく断定的判断は慎むべきだ。係る反訴は過払い賃金と立て替え保険料の返還請求であり、この事実を看過すれば損失となつて町民に迷惑がかかる。

竹内 竜也議員

(賛成14人・反対1人)

# 委員会 審議

町議会では2部門の常任委員会に分かれ審議しています。

**総務産業建設**（総務・財政・税務・議会・監査・消防・土木・  
農林・労働・商工・上下水道など）

◎八十嶋孝司◎酒井義光 竹内竜也 西村 稔 多賀吉一 向 正則  
谷口正一 河上孝夫

**文教福祉**（民生・衛生・保険年金・福祉・教育・病院）

◎荒井 克◎道下政博 森川 章 井上新太郎 森山時夫 角井外喜雄  
塩谷道子 洲崎正昭

（◎委員長 ○副委員長）

## 文教福祉

各常任委員会で活発に議論されたものを紹介します。



▲地震災害に備えて  
待たれる新庁舎

## 総務産建

### 役場庁舎建て替えへ

#### 検討委員会等を設置

-監理課-

**Q** 設置する委員会とその役割は。

**A** プロポーザル審査委員会と庁舎整備検討委員会を設置する。

プロポーザル審査委員会では、業者が作成した提案書を審査し、提案力や発想力などを見極める。

庁舎整備検討委員会

では、庁舎建設の設計や工事に対しさまざまな提言などを行う。

**Q** 各委員会の構成員は。

**A** プロポーザル審査委員会は、学識経験者4名と行政6名の計10名からなる。

庁舎整備検討委員会は、学識経験者1名、

町内団体代表者から推薦を受けた6名、公募者2名、副町長、総務部長、議員4名の計15名からなる。

### 障害児通所支援サービス 給付件数、給付額が増加

-福祉課-

**Q** 通所支援サービスとは。主に放課後等デイサービスのことである。

**A** 1人当たりの給付額は幾らか。年間およそ180万円である。

**Q** 増加の理由は。

**A** 放課後等デイサービスを行う施設が増えたことにより、利用しやすくなったためと思われる。

**Q** 町の年間支出額は。

**A** 最終的には1億3000万円ほどの見込みである。



▲整備が進む通所支援サービス  
（中橋地内・みんなで笑顔「木のおうち」）

みなさまからの

# 請願1件を審査

12月会議で審査された請願・陳情の結果をお知らせします。  
 請願・陳情は、町政に対し意見や要望があるとき誰でも提出することができます。  
 請願には紹介議員が必要ですが、陳情には必要ありません。

不採択となった請願

## 沖縄県辺野古の新基地建設を即刻中止することを求める

◎請願者 津幡町北中条

紹介議員 牧野 悦子  
 塩谷 道子  
 (賛成2人・反対13人)

主旨 政府は自治体や住民が拒否している沖縄県辺野古の新基地建設を強行している。辺野古・大浦湾海域は、5300種以上の海洋生物の生息地であり、一度失われた生命は容易には戻ってこない。地方自治を尊重し、基地建設を即刻中止することを求める。

賛成

辺野古新基地は、普天間基地の代替基地と言われるが、実際にはより強大な基地となる。地方自治を尊重し、新基地はつくるなどという県民の思いを聞くべきである。

塩谷 道子議員

反対

日米安全保障条約によって日本の安全は守られており、辺野古への米軍基地移設も必要である。また、辺野古地区住民の生活向上を考えるなら、基地建設は進めるべきだ。

酒井 義光議員

## 12月会議の審議結果

(賛否の分かれたもののみを掲載しています)

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退 除斥…除

議案	件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	議席番号	議決結果															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			森川章	竹内竜也	井上新太郎	八十嶋孝司	西村稔	荒井克	森山時夫	角井外喜雄	酒井義光	塩谷道子	多賀吉一	向正則	道下政博	谷口正一	洲崎正昭	河上孝夫
議案	一般会計補正予算(第6号)…職員給の実績見込みや合葬墓整備など1億9451万円を増額する。	可決 賛14・反1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○
	介護保険特別会計補正予算(第3号)…各種の保険給付の年間実績見込みにより5864万円を増額する。	可決 賛14・反1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○
	反訴の提起について…当町が被告となっている損害賠償請求事件の原告に対し、過払い分賃金と社会保険料の自己負担分の支払いを求める。	可決 賛14・反1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○
	常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正…常勤の特別職の期末手当の支給月を3.25か月から3.30か月に改正する。	可決 賛14・反1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○
	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正…議会議員の期末手当の支給月を3.25か月から3.30か月に改正する。	可決 賛14・反1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○
請願	沖縄県辺野古の新基地建設を即刻中止することを求める	不採択 賛2・反13	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	-	×	×	×	×	×

※議長は採決に加わらないため「-」で表示



# 10月会議

一般会計  
補正予算

## 1473万円を承認 (全員賛成)

一般会計総額124億9312万円に



# 衆議院解散に伴い 選挙費専決処分を承認

平成29年10月19日に10月会議を開催し、一般会計補正予算の専決処分に係る承認1件が上程され、常任委員会の審議を経て承認、また平成28年度決算を認定した。

○衆議院議員総選挙及び  
最高裁判所国民審査費  
1473万円

平成29年9月28日に衆議院が解散したことに伴い、衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費を追加する。

### ※専決処分

議会が議決すべき事項を、議会の招集を待たない緊急な場合などに、町長が議会に代わって意思決定をすること。専決処分の後には議会に報告し、承認を求める議案の提出が必要となる。

なお、当町は通年議会を行っているため専決処分は限りなく行えないが、解散に伴う選挙費などは例外的に認めている。

## 研修報告

議会で受け入れた視察研修や議員が参加した研修を報告します。



10/3

視察受入

岐阜県瑞穂市議会  
産業建設常任委員会  
津幡駅周辺のまちづくり事業について

10/17

視察受入

福岡県川崎町議会  
民生文教常任委員会  
地域包括ケアシステムについて

10/30

視察受入

兵庫県香美町議会  
総務民生常任委員会  
地域包括ケアシステムについて

11/2

研修会

石川中央都市圏議会連絡会 行政課題研究会  
「北陸地方におけるインフラの老朽化と対策」  
講師 鳥居和之氏

11/13

視察受入

岐阜県輪之内町議会  
議会改革の取り組みについて



## 議会を傍聴しましょう

議会の会議録は  
町議会ホームページで  
みることができます。

◎町政一般質問は、年4回(3月、6月、9月、12月)行われます。

お問い合わせは、議会事務局 (Tel.288-6410)



# 11月会議

一般会計  
補正予算

## 800万円を可決

(賛成14人・反対1人)

一般会計総額125億113万円に

# 大坪地区に 工業団地を造成



▲企業誘致に向けて

平成29年11月15日に11月会議を開催し、一般会計補正予算の議案1件が上程された。議案は各常任委員会の審議を経て可決した。

○大坪地区工場用地取得  
造成事業

(債務負担行為)

3億2000万円

既存工業団地完売により新たな事業を町土地開発公社へ代行させるなど具体的手続きを進めるため、期間と限度額を債務負担行為で設定する。

※債務負担行為

予算の内容の一部として契約等で発生する将来の一定期間、一定限度の支出負担枠を設定すること。

○学校管理費

272万円

全小中学校の体育館で使用するジェットヒーターを各校に1台購入する。

○教育振興費

246万円

各小中学校にプロジェクト型電子黒板やスクリーン、英語学習教材を購入する。

## 11月会議の審議結果

(賛否の分かれたもののみを掲載しています)

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退 除斥…除

議案	議席番号	議決結果															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
一般会計補正予算(第5号)…衛生費や教育費など800万円を増額、また債務負担行為を追加する。	可決 賛14・反1	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わらないため「-」で表示

### 議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀（本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く）
- 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
- 町民や団体が議員に寄附などを求めること

このほか、議員活動に対して法律上の制限があります。

各種会合への出席依頼には参加費を必ず明記してください。

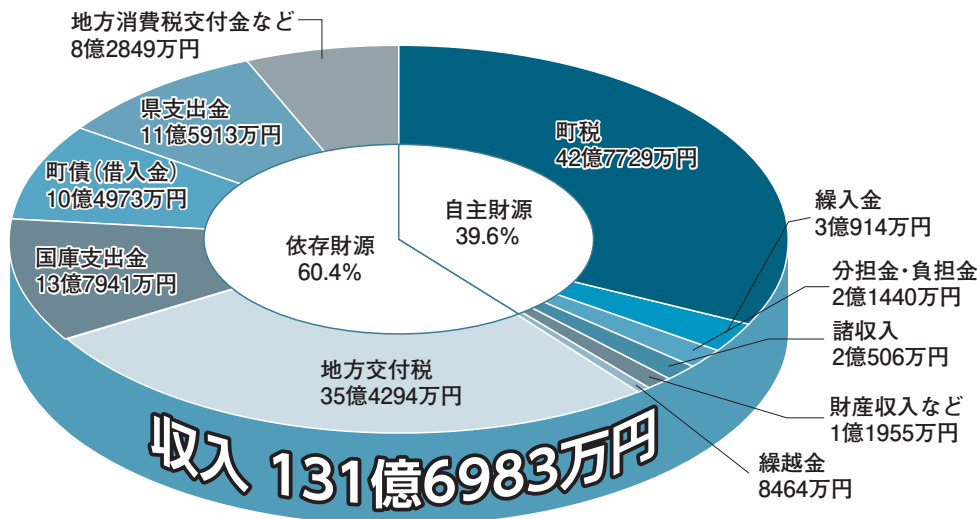
皆さまのご理解とご協力をお願いいたします

# 厳しくチェック!!

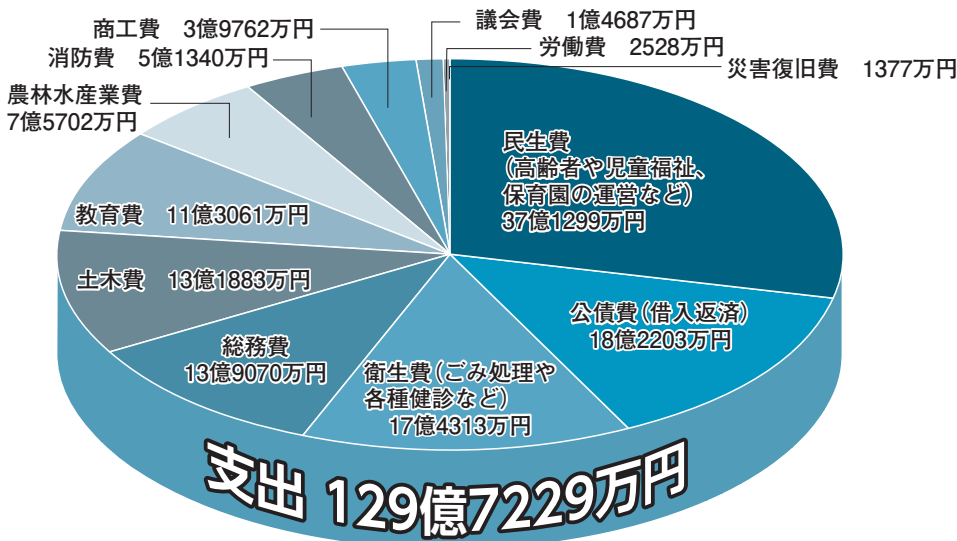
## 129億7229万円を



### ●一般会計決算● (賛成14人・反対1人)



9月会議で設置した決算審査特別委員会を平成29年9月15日から29日にかけて開催し、平成28年度一般会計と8特別会計、3事業会計の決算を審査した。10月会議で審査結果を報告し、認定した。



### ●事業会計● (全員賛成)

会計名	収入	支出	
河北中央病院	収益的収支	11億4330万円	11億9041万円
	資本的収支	1億7770万円	2億4071万円
水道	収益的収支	8億5705万円	7億421万円
	資本的収支	9784万円	2億7613万円
下水道	収益的収支	16億3692万円	15億8994万円
	資本的収支	10億8527万円	16億5165万円

※金額はすべて1万円未満を切り捨てて記載

### ●特別会計● (全員賛成)

会計名	収入	支出
国民健康保険	38億4071万円	37億1097万円
直営診療所事業(河合谷診療所)	233万円	233万円
後期高齢者医療	3億2832万円	3億2102万円
介護保険	24億9945万円	24億872万円
簡易水道事業	439万円	410万円
バス事業	1億889万円	1億581万円
ケーブルテレビ事業	4469万円	4469万円
河合谷財産区	27万円	27万円



# 平成28年度 決算審査

# 事業実績や効果を

## 一般会計支出総額

### 決算の主な指摘事項

#### 税・使用料の未納解消を

町税や国民健康保険税、使用料などの収入未済額は、改善は図られているものの依然として多額になっている。引き続き未納解消に向けた取り組みを図り、悪質な滞納者に対しては法的手段を徹底するなど強い姿勢で対処せよ。

#### 通行ルールを徹底せよ

津幡駅前広場ではバス・タクシーレーンへの一般車両の進入が依然として見受けられる。引き続き通行ルールの周知徹底、無料駐車時間の利用促進などにより改善を図れ。

#### 接続率向上へ

#### つばに地域と連携せよ

公共下水道事業では、依然として接続率の低い地域が存在する。重点的な戸別訪問などによる一定の成果はうかがえるが、地域との連携による取り組みこそ重要だ。関係する区による成功事例を他の区にも広めるなど積極的な働きかけを行い、接続率の向上に努めよ。



#### ふるさと納税強化策を

ふるさと納税の返礼品として津幡ブランドを活用することは、町の情報発信と産業振興にもつながり評価できるが、ふるさと納税サイトを利用した寄附はわずかにとどまる。町ホームページから直接アクセスできるようなするなど、寄附の増加と情報発信の強化に取り組み。

#### 知っていますか？

#### オレンジリボン

児童虐待防止推進月間に、オレンジリボンマークのイルミネーション看板を中央公園に設置しているが、通行者からは認識されにくく啓発効果は高くない。より効果的な啓発方法を検討せよ。



### 総括

当町の財政状況は、経常収支比率が前年度に比べわずかではあるが増加し、長期的には税収の大幅な増額が見込めないため厳しい状況が続いている。

こうした中、地方創生に向けた施策の取り組みが重要となっており、各種事業を着実に実施するための財源の確保と、最少の経費で最大の効果を挙げることができるよう、計画、実行、評価、改善を継続的に、引き続き財政健全化に向けた計画的かつ効率的な行政運営に努めるとともに、行政の質の向上と第5次町総合計画の着実な推進に向け、より一層積極的に取り組まれるよう要望する。

#### ※経常収支比率

人件費や公債費など経常的な支出に対して町税などの経常的な収入がどの程度充当されているか示す。

### 反対

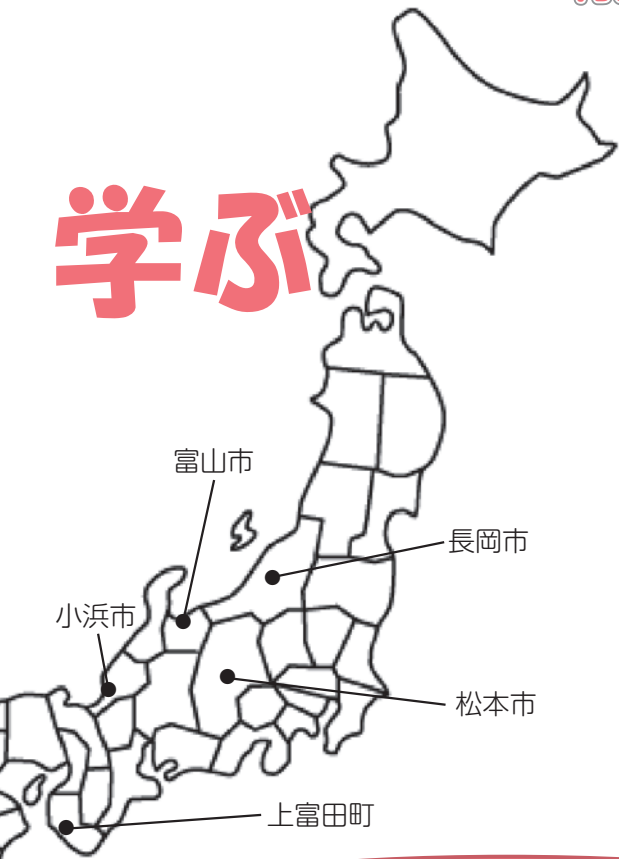
社会保障・税番号制度のシステム改修、自衛隊員募集、町道庄能瀬線と竹橋大坪線の各道路改良事業の費用は、必要な支出とは思えない。

塩谷 道子議員

# 議会改革検討

## 特別委員会

# 学ぶ



10/12

予算決算常任委員会と

議会報告会を学ぶ

(福井県小浜市)

### 【研修の目的】

予算決算常任委員会の分科会方式と議会報告会について先進地を視察し、当町での参考とする。

### 【研修内容】

#### ・小浜市議会

小浜市の予算決算常任委員会には議長を除く全議員が所属し、各常任委員会を母体とした分科会方式を採用している。

会期における一般質問日の変更や特別委員会から常任委員会へ段階的に移行させていることなど、参考となる点が多くあった。



▲先進地に学ぶ議会改革

年2回、12公民館を会場として議会報告会を開催し、全議員が4班に分かれ報告を行っている。議会報告会連絡会を設置し、班構成や課題の調整、報告会での意見等の整理などを行っていることが特徴的であった。

## デイサービスと健康施策、スポーツ振興を学ぶ

10/24~25

(富山県富山市)・(長野県松本市)  
(新潟県長岡市)



▲地域共生福祉を学ぶ  
(富山市)

・富山市役所  
最初は民間の事業所から始まった富山型デイサービスでは、高齢者、子ども、障害者もともにサービスを受けられる。小規模・多機能・地域密着をキーワードに行政が推進に力を入れ、開設から10年後には国から推進特区の認定を受けた。

・長岡市役所  
市民スポーツ活動の充実、子どもたちの育成に重点的に取り組んでいるほか、市スポーツ推進計画を策定し、さらにスポーツ振興条例に向けた検討委員会を設置している。各種スポーツ体験を目的とした運動遊びやスポーツフェスタなどを継続して開催しており、ジュニアスポーツへの関心の高さが感じられた。

# 文教福祉

## 常任委員会

### 【視察の目的】

デイサービスの先進事例や高齢者が健康で安心して暮らせるまちの健康施策、スポーツ振興の取り組みを視察し、当町での今後の施策の参考とする。

#### ・松本市役所

健康寿命を延ばすため、まちづくり6つの基本目標として、人の健康を基礎に、生活、地域、環境、経済、教育・文化それぞれの健康の実現に向け、市民、行政、産・学が一体となって健康づくりを進め、さまざまな施策を行っている。

子どものころから体力づくりや食生活の重要性を身につけることが大切であり、地域力の向上が健康づくりの原点であると感じた。



# 総務産業建設

## 常任委員会

人口が増え続ける町の  
取り組みを学ぶ

10/24~25

(和歌山県上富田町)



▲積極的なまちづくりを学ぶ

人口が増え続ける元気な町と言われる上富田町のまちづくりの取り組みを学ぶ。

### 【視察の目的】

### 【研修内容】

・上富田町役場  
これまでの町の人口増

は、将来を見据えた企業誘致に成功し、働く場所を確保したことと暮らしやすい生活環境の整備に取り組んだことにある。

また、スポーツ施設の充実を図り、住民や企業がスポンサーになるなど、町政への取り組みに積極的に参加、支援してもらい、産官学民が一体となる健康で生きがいのあるまちづくりを進めてきたとのことである。

町を挙げての産官学民の積極的な取り組みに感心した。

# 先進地に 委員会視察レポート

委員会で行った行政視察や研修で学んだことを報告します。



▲復興が進む熊本城

# 議会運営委員会

## 県森林公園活性化対策特別委員会

### 【研修内容】

#### ・熊本市

被災者支援策を早急に進めるために被災者生活再建支援システムを導入し、総合相談窓口を設置して申請や各種相談をワンストップで受け付けた。現在市の総合計画を見直し、復興重点プロジェクトを推進している。

熊本城は大規模な修復工事中であるが、文化財となっている建物などは修復に長い年月を要する。

10/30~11/1

## 熊本地震の概要と新庁舎建設 観光農業公園を学ぶ

(熊本県熊本市)・(宮崎県小林市)  
(鹿児島県鹿児島市)

#### ・小林市役所

熊本地震の概要と熊本城の現地状況、新庁舎建設、観光農業公園について、それぞれ視察する。

庁舎の建設規模は将来にわたる重要な課題であり、当町でもさまざまな角度から検討する必要がある。

#### ・観光農業公園グリーンファーム(鹿児島市)

交流と体験のフィールドを基本コンセプトに3つのゾーン(体験学習、地域交流、民間参画)で構成されており、交流体験館、体験用農地、農産物直売館、キャンプ場のほか、簡易宿泊所付きの滞在型市民農園がある。



向 正 則 議員

一般質問とは、議員が町政全般について町長など執行機関に考えや方針を問うものです。制限時間は1人30分以内で、一問一答で行われます。

# 問う

## 町 長 選

### 三期目の出馬を問う

### 引き続き全力を尽くす

向 議員

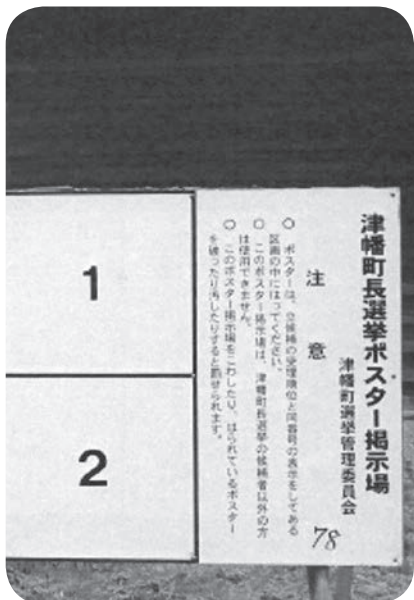
矢田 町長

町長は、まち・ひと・しごと創生総合戦略や第5次町総合計画と未来を見据えた施策に取り組んでいるが、今後大きな事業も控えている。これらを確実に実行していくためにも、三期目が重要と考える。

平成30年4月の町長選挙出馬の意思を問う。

第5次町総合計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略、そして新たに取組む私学誘致などもあわせて、私に課せられた使命であると考えている。

引き続き町の発展と町民の幸せのため、すべての力を町政に捧げたいと決意している。



▲前回のポスター掲示板

## 農業の対策は

### 補助事業を活用し推進する

## 中山間地

向 議員

中山間地域は、我が国の経営耕作面積の4割を占め、食料供給においても重要な地位を占めるとともに、水資源涵養機能、洪水防止などの多面的機能においても役割は大きい。

国の補助事業などで維持されてきたが、耕作者の高齢化、担い手不足、不利な条件などで問題は山積みである。

今後の中山間地の農業と耕作放棄地の対策を問う。

耕作放棄地対策は、中間管理機構関連農地整備事業や荒廃農地等利活用促進交付金を活用し、減少を図っている。

また、集落営農を組織することで経営の効率化を図り、集落の特性に応じた生産を推進している。経営規模によっては複数集落での組織化を図り、中山間地の農業を将来にわたり持続可能なものとする対策をとっている。



▲津幡高校生による耕作放棄地の草刈り作業

河上 産業建設部長





八十嶋孝司 議員

# 一般質問

# 町政を

## ジュニア層の発掘を

組織や指導者が整えば考える

### レスリング

八十嶋 議員

当町出身の金メダリス  
ト川井梨紗子選手は、ジ  
ュニア時に金沢のクラブ  
で指導を受けた。

当町でも金沢、志賀に  
続くジュニアクラブの育  
成と整備に今こそ取り組  
むべきである。このこと  
は、東京オリンピックに  
向け練習に励む川井選手  
の力となる。  
町の考えは。



▲ジュニアクラブができるといいね

矢田 町長

現在、当町にはレスリ  
ングに関する組織はない  
が、東京オリンピックに  
向け気運の盛り上がりと  
ともに、川井姉妹の活躍  
によってレスリング人気  
が高まることが予想され  
る。

ジュニアの育成を含め  
たレスリング指導者など  
人材が整う方向に進めば、  
レスリング場の確保やマ  
ットの購入を考える。

## 中学部活動

土日休養日の考えは

月に2回以上

設けている

八十嶋 議員

教員の働き方改革が叫  
ばれている。

文部科学省は平成29年  
1月、教育委員会に土日  
の休養日の取り組みにつ  
いて通知を出している。

現場からは、運動部活  
動での負担軽減を望む声  
が高いと聞く。

町にある2中学校の取  
り組みと責任ある教育委  
員会の考えを示せ。



▲時間を惜しまず指導する先生

吉田 教育長

平成29年度、部活動の  
休養日は、週1日以上、  
月2回以上は土曜日また  
は日曜日に設けている。

また津幡南中学校では、  
木曜をショート部活動デ  
ーとし、活動を5時半ご  
ろまでとしている。教職  
員も通常より早めに退校  
できるよう取り組んでい  
る。

教職員の負担軽減とと  
もに、生徒の心身の健康  
保持、けがや故障の防止、  
学習時間の確保などの観  
点から、さらに適切な休  
養日の設定が必要である  
と考える。

### その他の質問

**Q** 保険者努力支援制度  
の取り組みは。

**A** 町民の協力を得なが  
ら、一層強化に努め  
る。



塩谷道子 議員

## 18年度産米

直接支払交付金  
廃止への対策を

## 国の施策を実施する

## 塩谷 議員

農林水産省は、2018年度産米から生産調整に参加する農家に交付してきた10a当たり7500円の直接支払交付金を廃止する。この施策は企業側からの要請にほかならない。

農業に携わっている方々にとっては大打撃であり、不安を感じている。町はこの事態に対してどのような対策を考えているのか。



▲米作りに支援を

## 河上 産業建設部長

国の施策を受け、主食用米の過剰作付けを抑制し、米の価格の安定を図るため、麦、大豆、園芸作物、非主食用米を適切に組み合わせた水田のフル活用を取り組みを進め、農業生産者の所得確保、安定を図る。

また、2019年度から導入予定の自然災害による収量減少だけでなく、価格低下なども含めた収入減少を補填するための収入保険制度などの施策を活用・周知し、農業生産者の支援を行う。

介護からの卒業の  
内容を示せ要  
支  
援  
者自立に向けた  
支援を行っている

▲仲間と元気に

## 塩谷 議員

年齢が上がっていくにもかかわらず、介護からの卒業を促すと言われれば不安を感じる。

埼玉県和光市では、要支援など軽度の方への取り組みとして、卒業後を支える施策を豊かに用意している。

卒業とはどういう内容で、どのような状況で行おうとしているのか。

## 山嶋 福祉課長

要介護状態からの卒業とは、介護予防への重点的な取り組みによりサービス利用者の状態が改善することを示すものである。

町地域包括支援センターでは、高齢者が病气やけがなどにより、住み慣れた地域や自宅で以前のような生活が困難となった方に対し、関係機関と連携を図りながら、自立に向けた継続支援を行っている。

## その他の質問

**Q** 特別徴収税額決定通知書への個人番号記載を中止せよ。

**A** 法令を順守する義務があり、できない。

**Q** 国保税が高くならい施策を行え。

**A** 適正な保険税率となるよう努める。

**Q** 健康診断時に緑内障の検査も取り入れよ。

**A** 現時点では考えていない。





井上新太郎 議員

井上 議員

森林動物園は、動物の数は少ないが、町内外の子どもたちや親子連れの家族にとって、憩いの場になっている。しかし、開園から40年が経過し、施設などの劣化、動物の老齢化が進んでいる。

町の貴重な観光資源であり、交流人口増大につなげるためにも、案内標識や施設内の整備を急げ。今後、県に対し整備促進を強く要望していく。

森林動物園

活用のため 整備を急げ

県に要望する



▲森の動物たちとのふれあいを

矢田 町長

森林公園は森林公園地域振興会・金沢森林組合エコグループが指定管理業務を行っている。施設内の手すりや金網柵の整備は順次行っており、案内看板や標識のデザインを変更することも検討していくとのことである。

動物の老齢化に関しては、シカを譲り受けできないか相談していると聞く。

小規模校

特認校制度を導入せよ

必要性があれば検討する

井上 議員

当町の9小学校は、大規模校と小規模校の二極分化が進行している。今後の人口動態の変化により、小規模校はさらなる児童数の減少が懸念される。

小規模校に特認校制度を導入すれば、豊かな自然環境の中で、地域住民の協力のもとに、より発展的な教育環境が維持できる。町の考えは。

吉田 教育長

現時点では、当町の小規模校での特認校制度の実施計画は考えていない。町全体の学校の適正規模・適正配置などを検討していくこととあわせ、今後要望や必要性があれば、当該学校の地域の方々と協議を重ね、対応を検討していく。



▲元気な声が響く刈安小学校

※特認校制度

従来の通学区域は残したまま、特定の学校について通学区域に係なく、当該市町村内のどこからでも就学を認めるもの。



竹内 竜也 議員

## 避難場所

### 浸水が想定される 場合の使用は

### 避難所に利用することは 想定していない

竹内 議員

町洪水ハザードマップによれば、避難場所として設定されている施設の中には浸水想定区域内に入るものがある。想定どおりに浸水した場合、避難場所として使用することが可能なのか。また、浸水した危険な状況下で、住民が避難場所に向かって移動することを、どう考えているのか。

石庫 総務部長

ハザードマップに想定される浸水害の恐れがあるときには、区域内の施設を避難所に利用することは想定していない。

浸水時の移動は危険であるので、建物の2階以上へ避難する垂直移動が適切である。今後、住民の防災リテラシーの一層の向上に努めていく。



▲看板の確認を

※防災リテラシー

災害に遭遇したとき、目の前の状況に適切に対応し、想定外の状況から自分自身を救う能力のこと。

## 出産予定日以降も 公費負担に

### 妊婦健診

### 検討していく

竹内 議員

妊娠初期から40週に至るまでの標準的な健診回数14回分は、当町でも公費負担の対象となっている。しかし、40週までに胎児が出生しない場合、15回目以降の健診は全額自己負担となる。早産など、14回の受診に至らなかった助成分を15回目以降に振り替え、予定日以降の健診も助成の対象とせよ。

小倉 町民福祉部長

平成28年度、当町において出産した307人のうち、41週以降の出産が11人であり、中には実費で健診を受けた方もいると推測される。母親が安心して子どもを産むためには、妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減は重要であるとの認識から、出産予定日以降の公費負担を検討していきたい。



▲元気に生まれてきてね





西村 稔 議員

## 地域住民との連携を図れ

日頃からの取り組みを進める

### 教育現場

西村 議員

教育現場において、事故、事件、トラブルなどが後を絶たない。これらを防止するため、地域住民などより多くの人の意見を聞き、密なる連携を図ることが大事である。今後、どのように取り組んでいくのか。



危険箇所を周知

舂井 学校教育課長

現在、小中学校では授業参観や運動会、文化祭などの学校行事、さらに各種PTA行事で学校公開をしている。行事や取り組みを増やすのではなく、日頃から地域の方や保護者が学校へ足を運ぶ回数を増やす工夫をし、学校に対する意見を聞きながら、地域とともに歩む学校づくりを進めていきたい。

## 通電火災

### 電源遮断装置の設置を促進せよ

調査、研究していく

西村 議員

地震による火災の延焼の予防の一つとして、家庭の分電盤のメイン漏電ブレーカーに重りをつけ、自動的にブレーカーを切る装置がある。小松市では、促進対策として2000円を限度に助成している。当町でも検討せよ。

松浦 消防長

▲通電火災の対策を



消防本部では、以前から通電火災の対応として、地震発生時にはブレーカーを切り避難することや、ブレーカーを戻すときは、電気器具や配線の安全性を確認することなどを呼びかけており、現段階では最も効果がある対策と考えている。しかし、今後の防火減災対策を進める上で、感震ブレーカーの性能や有用性を見極める必要があり、機器の特徴や性能などを十分に調査、研究していきたい。



森川 章 議員

## 外国語教育

### 小中学校での

### 充実を図れ

### 体制の整備を図っていく

#### 森川 議員

新学習指導要領では、小中学校での英語教育が大きく変わることになる。平成30年度から始まる英語活動と英語科目のさらなる導入に向けて、当町の外国語教育を充実する計画や、ALT（外国語指導助手）を含む指導者の人員、授業活動などをどのように考えているのかを示せ。

#### 吉田 教育長

当町では、現在ALTおよび外国語指導員計3名を小中学校に配置し、英語の授業で教員を補助している。

児童生徒が生きた英語を学ぶ機会の充実のため、DVDなどの視聴覚教材の整備をしていく。また、小学校教員の英語指導力の向上を図るための研修も充実させていく。

今後、児童生徒のコミュニケーション能力の育成と、世界を舞台に活躍する人材育成のための環境整備に努めていく。



▲英語でコミュニケーション

## 町のPRを 専門的に行え

### 調査、研究を行っていく

### 情報発信



▲もっとPRを

#### 森川 議員

当町をPRすることは、定住促進、企業誘致、観光客誘致など、多くの分野で必要になっており、手法も紙面のものやWEBなどインターネットを通じて、津幡町PR課やPRプロジェクトチームなどを検討せよ。

#### 矢田 町長

当町では、ゆかりのある3名の著名人を広報特使として委嘱し、機会あるごとに町の告知をしていただいている。

現段階ではPRを専門的に行う組織を設置する予定はないが、職員に創造力を発揮してもらい、PRを積極的に推進したい。

さらに、戦略的で効果的な情報の発信のため調査、研究を行っていく。

#### その他の質問

**Q** 町施設の利用促進のため、周遊バス、町営バスの経路を検討せよ。

**A** 現状では困難である。  
**Q** 小中学校の式典用音響設備の整備を。

**A** 故障などの報告はないが、取り扱いに注意する。





酒井義光 議員

## 森林公園での対策を

緩衝帯整備を実施している

イノシシ

酒井 議員

平成29年度、イノシシの捕獲数は前年度の2倍となり、特に県森林公園近隣地区に大きな被害が出ている。  
生息数を減らすため、県森林公園に大型鳥獣が住みにくい環境の整備と、公園の一部だけでも鳥獣保護区の解除を県に働きかけよ。

◀ 広がるイノシシ被害に対策を



矢田 町長

環境整備の取り組みとして、いしかわ森林環境基金事業を活用し、森林の見通しをよくする間伐ややぶの刈り払いを行う緩衝帯整備を実施している。県では、この事業が有効かどうか固定カメラを設置して経過観察している。  
また、鳥獣保護区の一部解除は、近隣に小学校や住宅地があるため、安全面から難しいと考えている。



▲川の流れをはばむ堆積土砂

## 能 瀬 川

道路と河川改修、

土砂除去に取り組み

一体的改修に向け

県へ要望していく

酒井 議員

能瀬川は種地区から谷内地区まで川幅が狭く、堆積土砂の量も多い。また、地区によっては県道も狭く、低いため水害に遭うこともしばしばある。

岩本 都市建設課長

平成25年には下矢田地区で水害が発生し、住民が避難した。県道と河川改修と堆積土砂除去を一体的に取り組むよう県へ要望せよ。

中山区と上矢田区の集落は交通安全上、また水防上の懸案地点となっている。英田地区振興会からの要望を受け、町として県に対し要望を続けている。  
県では、平成25年度の豪雨災害の後、大規模な堆積土砂の除去を行っているが、29年度は9月の補正予算で堆積土砂の除去を中山区と上矢田区で実施すると聞いている。  
今後も引き続き、両施設の一体的改修に向けて県に強く要望していく。



道下政博 議員

## 庁舎整備

### 基本構想案

### 推進の理由は

財源が有利である

道下 議員

矢田 町長

平成29年11月の議会全員協議会で、町庁舎整備基本構想案4案の中から、A案を基本に進めたいとの報告であったが、概算工事前想額ではC案と大差がなかった。

A案は仮設庁舎が必要なく、福祉センターも改修を行うため長寿命化事業債を利用でき、財源が最も有利であるため推進案とした。  
C案は新庁舎と福祉センターを丸ごと建て替える案であり、一般財源の差額は実質、約5億7000万円となる。



▲新庁舎へ期待が膨らむ

## 避難場所となる 小学校に整備せよ

協議、検討していく

### ヘリサイン

道下 議員

埼玉県幸手市では、防災意識向上のため、ヘリコプターからの目印であるヘリサインを子どもたちの手作業で作成した。当町でも、地域の避難場所となる小学校に、子どもたちの手によるヘリサインを整備せよ。



▲確実な救助のために

吉田 教育長

当町小学校の屋根の形状からヘリサインの整備が可能と考えられるのは、津幡、笠野、英田小学校の3校のみであるが、現状を考慮しながら町総務課や消防本部などと協議、検討していきたい。

今後、児童生徒の発達段階に応じた安全指導や防災教育を行っていく。

### その他の質問

**Q** 電子母子健康手帳サービスを導入せよ。

**A** 導入コストに見合った効果を調査、研究する必要がある。



# 追跡 あの質問のゆくえ



▲見違えるようになった側道

これまでに行われた質問や提言がその後どう取り組まれたか、2項目を選びレポートする。

## 温水プールの建設場所は 平成27年3月会議 河上孝夫議員

平成26年12月の議会全員協議会で、温水プールの候補地として5地区が適地として示されたが、いまだに候補地が絞られていない。いつごろ建設場所を示せるのか。  
また、計画を見直し、温水プール建設の早期実現を図れ。

### 答 弁

## 決定できる段階ではない

温水プールの建設場所は、施設建設のための有利な財源確保ができる事業手法を研究しているところで、決定できる段階ではない。  
一日も早く着手したいところだが、今後の経済状況を勘案し、さまざまな角度から建設時期を検討したい。

### その後

## 住吉公園が最適である

さまざまな条件、特に財源要件を満たす場所、町民の利便性などを総合的に判断した結果、現在の住吉公園での建設が最適であると判断した。  
2018年度に整備計画の協議などを行い、2023年度までの整備を目指す。

## バイパス側道の 管理できない植栽は撤去を求めよ 平成29年3月会議 酒井義光議員

舟橋踏切からJR西日本能瀬変電所までの区間には、背の高いススキやヨシが生い茂っている。  
あまりにも見苦しいため地区住民で草刈りを実施したが、集落からも離れているためたびたびの剪除作業は困難である。  
管理できない植栽は、管理者である国に撤去を要望すべきだ。

### 答 弁

## 管理者に引き続き要望する

英田地区振興会の要望を受け、国土交通省金沢河川国道事務所に対し要望を行い、部分的ではあるが改善されている。  
景観上の観点から、植栽の撤去、防草シートの敷設など、管理者に引き続き要望していく。

### その後

## 対策が実施される

国土交通省において、当該区域を含め、能瀬駅までの区間を植栽の撤去や防草シートの上に瓦廃材の敷設など、景観に配慮した整備が実施された。

## スマホで議会だよりを



App StoreまたはGoogle Playからダウンロードしてください。



津幡町議会HP

# みんな楽しくやってみよう!!

## サークル紹介第33回

## PEACE

スポーツは人間的成長の手助けになる



PEACEは、今年で18年目の卓球クラブです。小中学生の子どもたちが日々目標を持って卓球に打ち込んでいます。

PEACEでは、特に「あいさつ」と「スポーツをする姿勢」を意識して指導しています。

PEACEの子どもたち

「スポーツは人間的成長の手助けになる」。ほんとにその通りだと思います。スポーツは1人でできません。

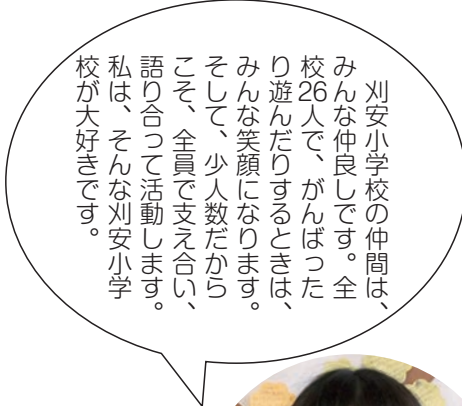
PEACEの子どもたちには、一緒に卓球ができる「仲間」、卓球をするために支えてくれる「親御さん」に、「感謝」の気持ちを持ち、しっかりと「あいさつ」のできる子になってほしいと思っています。

コーチ **森田 篤子**

表紙の題字は

刈安小学校6年

石山 実希さんの作品です。



◆活動場所と時間  
町総合体育館  
毎週水・金曜日  
19～21時

◆連絡先  
090-4684-9648 (小泉)



▲表紙写真を選定する委員

議会広報調査特別委員会

- 編集委員長 荒井 克  
副委員長 八十嶋孝司  
委員 森川 章  
竹内 竜也  
井上新太郎  
塩谷 道子

議会だよりの感想をお寄せください!